

つたえるけん 時津町

なづみだけ
鳴鼓岳の中腹に
木々や花々を植え、育てる。
町と住民が協働で取り組む
森の再生が始まっています。



今月のつたえるひと **田添 等**さん

時津町出身。高校卒業後、長崎市の消防署に勤務。退職後、更生保護施設で働きながら、まちづくりの活動に参加。「なづみの森再生推進会」代表。

鳴鼓岳をもっと町民に
親しまれる憩いの場に

時津町は、昔は大村湾を経て長崎へ通じる水陸交通の要地で、宿場町として栄え、港に水揚げされた多くの魚が時津街道を通過して長崎へ運ばれていました。また、農業も盛んで、現在も米、ミカン、ビワ、ブドウなどが生産されています。氣候が良いし、食べ物もおいしく、とても暮らしやすい町です。

ただ、時津町の西南部に位置する鳴鼓岳の麓では、イノシシによる農業被害が深刻です。人口増加や動物の生息環境などの変化に伴い、山に食べ物がなくなつたために畑を荒らすようになったと考えられます。その対策の一環として時津町では、イノシシを山に帰すことを目的に、ドングリなど実のなる木を山に植樹する里山再生事業「とぎつの森再生計画プロジェクトDどんぐり」を実施しています。私が代表を務める「なづみの森再生推進会」は、時津町と協働で、平成25年に初めてドングリの苗木千本を地域住民150人と一緒に鳴鼓岳中腹に植えました。植樹に使う苗木は、町内の保育園と幼稚園に種を提供し、子どもたちに育ててもらっています。

鳴鼓岳は全体が県立自然公園に指定されており、登山も楽しめます。プロジェクト活動を通じてこの山の良さを

茶屋(本陣)

江戸時代、時津街道を通る大名や幕府の役人たちが休息所として利用した茶屋です。座敷や居間は1848年に建築された当時の姿をとどめ、歴史を感じられます。

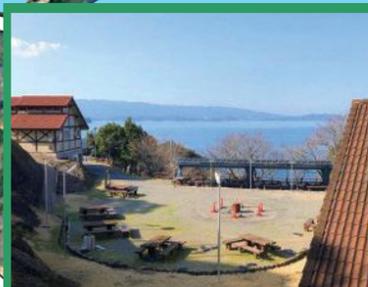


鳴鼓岳自然公園

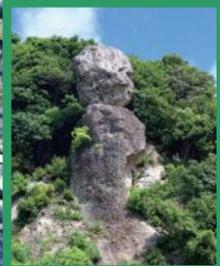
350~390m級の山が連なる鳴鼓岳。最も高い391.2mの山の中腹には駐車場があり時津町を一望できます。そこから山頂まで登山道を約30分歩けば、大村湾を見下ろす景色が広がります。

崎野自然公園

約11ヘクタールの広大な敷地にキャンプ場や草スキー場などの遊戯施設のほか、コテージなどの宿泊施設を備えた公園です。展望所からは大村湾が眼下に広がります。



文化の森公園
多目的ホール「とぎつカナリーホール」に隣接する公園で、アスレチックやつり橋、フリーフォールなどの遊具に加え、森を散策できる遊歩道もあります。



鯖くさらかし岩(継石坊主)
国道206号沿いの山の斜面から突き出た岩に、大きな岩が今にも落ちそうな状態で乗っています。魚売りがサバを長崎に運んでいる途中に「じきに落ちるだろう」と眺めている間にサバが腐ってしまったという昔話が名前の由来となっています。

鯖くさらかし岩 キャラクターグッズ

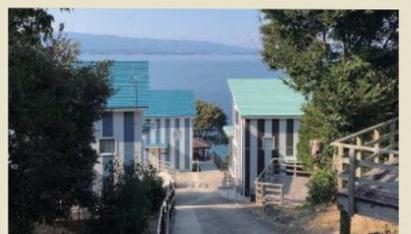
時津町では、「鯖くさらかし岩」をモチーフとしたキャラクターを使ったまちおこしを展開中です。落ちそうで落ちない奇岩(きがん)にかけて、合格祈岩(祈願)のグッズなどを販売しています。
問合せ:時津町民総活躍プロジェクト推進委員会事務局
(時津町企画財政課内)
☎095-882-3916



表紙のはなし『ペーロン』

ペーロンは江戸時代に長崎に在留していた中国人から伝わった舟競漕で、毎年県内各地で大会が催されます。時津町でも熱戦が繰り広げられ、夏の風物詩として親しまれています。

キャンプで豊かな自然を体験!



崎野自然公園は、キャンプ施設(有料・予約制)が充実しています。2018年にオープンした3棟の2階建てコテージ(写真)は、1階にはキッチンやリビングを備え、テラスでバーベキューを楽しめます。2階には展望浴室や星空が見える寝室があります。
ところ:時津町西時津町1379-1
問合せ:崎野自然公園 管理棟
☎095-882-6303

ふるさと散歩とぎつ 無料



町内の史跡を巡る約6kmのコースです。各史跡ポイントで時津町史談会の解説を交えて散策します。
と き:4月29日(水・祝)(要事前申込)
集合場所:時津町民俗資料館(とぎつカナリーホール内) 時津町野田郷62
問合せ:時津町民俗資料館
☎095-882-0003

再認識し、もっと多くの方に訪れてほしいと思うようになりました。そこで、季節の花々を楽しめるスポットも作ろうと、アジサイ千本、ツツジ700本のほか、果樹や桜など10種類以上の樹木も新たに植えました。生育状況のチェックや除草、水やりなどの管理を私たちが行っています。昨年11月の植樹の際には、県内企業からもボランティアの参加があり、活動の広がりを実感しました。今後は植樹にとどまらず、草刈りといった育樹活動への参加も募りたいと考えています。
今後、鳴鼓岳の中腹に藤棚と休憩所を造ることを計画しています。登山道の整備も続け、小さな子どもからお年寄りまで、お弁当を持って気軽に来られるような憩いの場になるようにこれからも活動を続けていきます。